

2020年度 学習支援計画書

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S	M
共通専門科目	レクリエーション論 [Recreation]		2			
授業形態	担当教員名			科目ナンバー		
講義 アクティブ・ラーニング	福島 邦男			NSM-S2020		
この授業に関する資格						
ピアヘルパー、レクリエーション・インストラクター、障がい者初級スポーツ指導者、スポーツ栄養士、スポーツ指導者等共通科目、アシスタントマネジャー、アスレティックトレーナー、子ども身体運動発達指導士、中高老年期運動指導士						
この授業のキーワード		授業概要				
1	レクリエーション	レクリエーションが必要とされてきた歴史・社会的な背景について学び、生活における生きがいづくりとしてのレク支援活動を理解する。ホスピタリティトレーニングやアイスブレイキングについての知識を深め、障がい形態別のレクについても学ぶことで、豊かな人生を築くために必要な知識を身につける。				
2	レジャー					
3	自由時間					
学習の到達目標						
レクリエーションの基本原理と意義を理解し、レクリエーション支援の理念とその必要性、支援者の役割について学び、応用力を身に付けることを目標とする。						
回	テーマ	授業内容				AL
1	レクリエーションとは	授業概要 用語の定義とレクリエーション・インストラクターの役割				
2	レクとレジャー	労働と遊び、レジャーとレクリエーションについて				○
3	労働・余暇・レク	レクリエーション・余暇の現状と課題 余暇と自由時間				
4	レクリエーション運動	レクリエーション運動の歴史と概念 砂場づくり運動から興亜厚生大会				
5	現在のレク運動	戦後のレクリエーションの変遷と制度				
6	楽しさと元気づくり	楽しさを通じた心の元気づくり並びにアイスブレイキングについて				○
7	心の元気と地域づくり	コミュニケーションと関係づくり 地域のきずなについて				
8	ホスピタリティ	レクリエーション支援とホスピタリティトレーニング コミュニケーションワークについて				○
9	仲間づくり集団づくり	集団に対するレクリエーション支援について				○
10	障がいとレクリエーション1	みんなのスポーツ 楽しむ力 障がいに対する理解				
11	障がいとレクリエーション2	障がい者のスポーツ大会についてとノーマライゼーションについて				
12	レクと環境問題	身近な生活環境の問題と世代間問題について				
13	レクでの安全管理	リスクマネジメント				
14	レクの事故と責任	シーズンスポーツの事例を中心として				
15	まとめ	この講義で取り上げたレクリエーション理論のまとめ				
試験等	筆記試験					
教科書及び参考図書						
参考図書：楽しさをとおした心の元気づくり、(財)日本レクリエーション協会、レクリエーション支援の基礎、(財)日本レクリエーション協会 その他：必要に応じて資料を配付する。						
準備学習・事後学習						
準備学習（週 1.5 時間）：授業のキーワードとテーマに関する情報（新聞、雑誌、インターネット等）を入手し、毎回のミニレポートに生かせるように目を通しておく。 事後学習（週 1.5 時間）：毎時間配付する資料は保管しておき、事後学習で活用できるようにしておく。						
課題に対するフィードバックの方法						
フィードバックとして、毎時間ミニレポートを回収し、次回授業始めに解説を行う。オフィスアワーでも適宜対応する。						
成績評価の目安と方法						
毎回のミニレポート 70% 課題・提出物 30%						
評価	成績評価別の到達度					
S	レクリエーションを活かした、健康生活への応用力を十分に身に付けている。					
A	レクリエーションを良く理解している。					
B	レクリエーションを理解している。					
C	レクリエーションの基礎的な知識を身に付けている。					